



平成29年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月13日

上場会社名 住江織物株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3501 URL http://suminoe.jp/
 代表者 (役職名) 取締役会長兼社長 (氏名) 吉川 一三
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室部長 (氏名) 永田 鉄平 (TEL) 06-6251-6803
 四半期報告書提出予定日 平成29年1月13日 配当支払開始予定日 平成29年2月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年5月期第2四半期の連結業績(平成28年6月1日～平成28年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第2四半期	47,334	△3.1	80	△93.7	196	△87.1	23	△96.9
28年5月期第2四半期	48,863	12.3	1,290	△8.7	1,517	△17.6	764	△27.5

(注) 包括利益 29年5月期第2四半期 53百万円(△90.9%) 28年5月期第2四半期 582百万円(△73.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年5月期第2四半期	0.31	—
28年5月期第2四半期	10.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年5月期第2四半期	85,758	36,778	38.4
28年5月期	86,878	37,178	38.3

(参考) 自己資本 29年5月期第2四半期 32,944百万円 28年5月期 33,316百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年5月期	—	3.50	—	3.50	7.00
29年5月期	—	3.50	—	—	—
29年5月期(予想)	—	—	—	3.50	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年5月期の連結業績予想(平成28年6月1日～平成29年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	95,400	△2.2	1,540	△39.7	1,750	△39.3	740	201.6	9.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

29年5月期2Q	76,821,626株	28年5月期	76,821,626株
29年5月期2Q	1,379,884株	28年5月期	1,378,129株
29年5月期2Q	75,442,739株	28年5月期2Q	75,445,649株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予測値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
(4) 追加情報	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(企業結合関係)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期におけるわが国経済は、円高進行と消費の低迷から企業業績が伸び悩み、海外でも英国のEU離脱問題や原油価格の低迷が影響し、不透明な状況が続きました。しかしながら、2016年11月の米国大統領選挙後は、新政権の経済政策による景気の上向きが期待され、金融市場が活況となりました。

当社におきましては、米国子会社Suminoe Textile of America Corporation (以下STA) に端を発した会計処理問題により、前期末決算および第1四半期の決算発表が大幅に遅れ、株主のみなさまをはじめとする関係者のみなさまに、多大なるご迷惑、ご心配をおかけしました。深くお詫び申し上げます。

売上は当第2四半期連結累計期間において為替が円高進行したため減収となり、利益面では、STAの会計処理問題の再発防止に向けた対策費用および生産性の改善費用、本社ビル耐震工事に伴う事務所の移転費用や物流センターの移設費用が発生したことに加え、持分法による投資利益や不動産賃貸料の減少等があったため、減益となりました。

当第2四半期における連結業績は、売上高473億34百万円（前年同期比3.1%減）、営業利益80百万円（同93.7%減）、経常利益1億96百万円（同87.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益23百万円（同96.9%減）となりました。

セグメントの業績については、次のとおりであります。

(インテリア事業)

オフィスビルや商業施設、ホテル向けの業務用カーペットは、堅実に物件を受注したものの大型案件が少なく、売上は前年同期を下回りました。水平循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS® (エコス)」は海外輸出が堅調に推移しております。一般家庭向けカーペット、ラグ・マットは、個人消費に足踏みがみられ、温暖だった気候の影響もあり、売上は前年同期を下回りました。カーテンでは、「U Life® (ユーライフ) Vol.8」や「Face」が好調を維持し、7月には「mode S® (モードエス) Vol.8」を新たに発売したものの、売上は前年同期を下回りました。壁紙では、「ルノンホーム」、量産タイプの「ルノン・マークⅡ」がともに苦戦し、売上は前年同期を下回りました。

以上の結果、インテリア事業では、売上高170億86百万円（前年同期比2.7%減）、営業利益2億63百万円（同7.6%減）となりました。

(自動車・車両内装事業)

自動車関連では、売上は、海外事業での新規車種の受注が好調に推移したことと、新規商材と新規部位の受注拡大が進みましたが、全体では円高進行が影響し、前年同期を下回りました。営業利益は、STAの事業の安定化と収支の改善を進める一方、タイとインドでの売上拡大と原価低減が奏功し、メキシコでは、ニードルパンチカーペットの製造ラインが本格稼働したこと等から、前年同期を上回りました。

車両関連では、鉄道向けは、新規大型案件がなかったものの、新車の継続案件と公営・民鉄のリニューアル改造工事が好調に推移し、売上を伸ばしました。バス向けは、新車製造が好調を維持しており、オプション仕様による高付加価値商材の需要拡大と消耗部材の受注拡大により、売上、営業利益ともに大きく伸長しました。また、航空機向けシート地の受注も好調に推移しており、車両関連全体では、売上、営業利益ともに前年同期を大きく上回りました。

以上の結果、自動車・車両内装事業では、売上高272億56百万円（前年同期比2.3%減）、営業利益15億10百万円（同12.7%増）となりました。

(機能資材事業)

ホットカーペットは前年同期を上回る受注となり、浴室向け床材も好調に推移したため、ともに増収増益となりました。消臭・フィルター関連は、空気清浄機やその他の暖房機向けフィルターが振るわず、減収減益となりました。太陽光電池向け事業は、受注先の減産を受け、減収減益となりました。

以上の結果、機能資材事業では、売上高29億7百万円（前年同期比12.5%減）、営業利益1億56百万円（同25.4%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少等により、前連結会計年度末に比べ11億19百万円減少し、857億58百万円となりました。

負債につきましては、長期借入金の減少等により、前連結会計年度末に比べ7億19百万円減少し、489億80百万円となりました。

純資産につきましては、為替換算調整勘定の減少等により、前連結会計年度末に比べ3億99百万円減少し、367億78百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ28億19百万円減少し、49億91百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況については、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加等により、12億2百万円の支出（前年同期 12億21百万円の支出）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により、5億38百万円の支出（前年同期 28億10百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出等により、9億69百万円の支出（前年同期 2億38百万円の収入）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績は概ね計画どおりに推移しており、平成28年10月28日に発表しました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（4）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,930	5,111
受取手形及び売掛金	22,768	23,559
有価証券	295	—
商品及び製品	9,753	10,161
仕掛品	1,706	1,460
原材料及び貯蔵品	3,983	4,000
その他	3,413	3,893
貸倒引当金	△42	△29
流動資産合計	49,809	48,158
固定資産		
有形固定資産		
土地	17,277	17,247
その他(純額)	9,008	9,274
有形固定資産合計	26,286	26,522
無形固定資産		
	1,179	1,034
投資その他の資産		
投資有価証券	8,228	8,678
その他	1,521	1,512
貸倒引当金	△147	△147
投資その他の資産合計	9,602	10,043
固定資産合計	37,068	37,600
資産合計	86,878	85,758

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,209	18,227
短期借入金	13,128	12,481
未払法人税等	889	264
その他	3,732	4,095
流動負債合計	35,961	35,068
固定負債		
社債	—	500
長期借入金	3,830	3,253
役員退職慰労引当金	323	333
退職給付に係る負債	3,904	3,953
その他	5,680	5,871
固定負債合計	13,738	13,911
負債合計	49,700	48,980
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,554	9,554
資本剰余金	2,652	2,652
利益剰余金	10,768	10,527
自己株式	△360	△360
株主資本合計	22,614	22,373
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,450	2,775
繰延ヘッジ損益	5	68
土地再評価差額金	7,797	7,797
為替換算調整勘定	645	109
退職給付に係る調整累計額	△196	△179
その他の包括利益累計額合計	10,701	10,571
非支配株主持分	3,861	3,833
純資産合計	37,178	36,778
負債純資産合計	86,878	85,758

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)
売上高	48,863	47,334
売上原価	39,466	37,795
売上総利益	9,396	9,539
販売費及び一般管理費	8,106	9,458
営業利益	1,290	80
営業外収益		
受取利息	7	6
受取配当金	113	110
持分法による投資利益	129	54
不動産賃貸料	117	42
その他	129	105
営業外収益合計	497	318
営業外費用		
支払利息	106	113
為替差損	74	30
不動産賃貸費用	20	14
その他	69	45
営業外費用合計	270	203
経常利益	1,517	196
特別利益		
固定資産売却益	4	52
投資有価証券売却益	—	159
特別利益合計	4	212
特別損失		
固定資産除売却損	101	126
特別損失合計	101	126
税金等調整前四半期純利益	1,420	282
法人税、住民税及び事業税	575	205
法人税等調整額	△116	△224
法人税等合計	458	△18
四半期純利益	961	300
非支配株主に帰属する四半期純利益	196	277
親会社株主に帰属する四半期純利益	764	23

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)
四半期純利益	961	300
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△192	325
繰延ヘッジ損益	△8	68
為替換算調整勘定	△213	△652
退職給付に係る調整額	13	17
持分法適用会社に対する持分相当額	22	△5
その他の包括利益合計	△378	△247
四半期包括利益	582	53
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	475	△107
非支配株主に係る四半期包括利益	107	160

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,420	282
減価償却費	924	772
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	56	77
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	11	9
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4	△10
受取利息及び受取配当金	△121	△116
支払利息	106	113
持分法による投資損益 (△は益)	△129	△54
固定資産除売却損益 (△は益)	97	73
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△159
売上債権の増減額 (△は増加)	△872	△1,343
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△645	△725
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,530	504
その他	12	201
小計	△665	△377
利息及び配当金の受取額	121	115
利息の支払額	△104	△115
法人税等の支払額	△582	△826
法人税等の還付額	9	1
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,221	△1,202
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△120	△120
定期預金の払戻による収入	120	120
有価証券の取得による支出	△3,300	△1,000
有価証券の売却及び償還による収入	3,300	1,297
有形固定資産の取得による支出	△380	△1,042
有形固定資産の売却による収入	6	66
投資有価証券の取得による支出	△338	△7
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	155
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,053	—
その他	△46	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,810	△538
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△104	556
長期借入れによる収入	2,475	—
長期借入金の返済による支出	△1,296	△1,148
社債の発行による収入	—	483
リース債務の返済による支出	△461	△409
配当金の支払額	△226	△263
その他	△147	△188
財務活動によるキャッシュ・フロー	238	△969
現金及び現金同等物に係る換算差額	64	△108
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,728	△2,819
現金及び現金同等物の期首残高	9,543	7,810
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,814	4,991

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（企業結合関係）

比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し

平成27年6月1日に行われたBondtex社との企業結合について、前第2四半期連結累計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度末に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。

のれんの金額に係る見直しおよび取得原価の当初配分額の重要な見直しの内容は以下のとおりであります。

修正項目	のれんの修正金額
のれん（修正前）	1,322百万円
建物及び構築物	△288
機械装置及び運搬具	△113
土地	△46
有形固定資産（その他）	△4
無形固定資産（その他）	△857
その他	11
修正金額合計	△1,299
のれん（修正後）	22百万円

この結果、暫定的に算定されたのれんの金額1,322百万円は、会計処理の確定により1,299百万円減少し、22百万円となりました。

前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益および親会社株主に帰属する四半期純利益が3百万円増加しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年6月1日 至 平成27年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	インテリア 事業	自動車・ 車両内装 事業	機能資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	17,564	27,900	3,322	48,786	76	48,863	—	48,863
セグメント間の内部 売上高又は振替高	273	4	9	287	133	420	△420	—
計	17,837	27,904	3,332	49,074	209	49,284	△420	48,863
セグメント利益	285	1,340	209	1,834	50	1,885	△594	1,290

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物性・性能検査業等であります。

2 セグメント利益の調整額△594百万円には、セグメント間取引消去13百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△607百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年6月1日 至 平成28年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	インテリア 事業	自動車・ 車両内装 事業	機能資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	17,086	27,256	2,907	47,250	84	47,334	—	47,334
セグメント間の内部 売上高又は振替高	289	12	2	303	120	423	△423	—
計	17,376	27,268	2,909	47,554	204	47,758	△423	47,334
セグメント利益	263	1,510	156	1,930	56	1,986	△1,905	80

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物性・性能検査業等であります。

2 セグメント利益の調整額△1,905百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,907百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、「(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(企業結合関係)」に記載の取得原価の当初配分額の重要な見直しに伴い、当該見直し反映後のものを記載しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

前第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であるSuminoe Textile of America Corporationが、Bondtex, Inc.の株式を取得したため、「自動車・車両内装事業」のセグメントにて暫定的に算定された金額でのれんを認識しておりましたが、前連結会計年度末に確定しております。

詳細につきましては「(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(企業結合関係)」をご参照ください。